

新時代のレジリエント建築・都市

主催 日本建築学会 企画運営委員会 レジリエント建築タスクフォース

西嶋一欽（京都大学）
西本篤史（日建設計）
堀江 啓（MS&ADインターリスク総研）
増田幸宏（芝浦工業大学）

主旨 レジリエンスとは「厳しい環境変化を乗り越えるしなやかな力」であり、昨今様々な大規模災害に見舞われる我が国の地域社会において、災害から命を守ると同時に被災から速やかに回復することのできる建築や都市が切実に求められている。2011年の東日本大震災以降、学術や行政、産業・ビジネス等の分野においてレジリエンスという言葉が重要なキーワードとして語られるようになったが、生態学において「粘り強さとしなやかさ」を意味する概念としてはじまったこの言葉は、災害や気候変動、システム工学などの分野においても用いられ、予測不能なリスクや危機に対してサステナブルな環境をいかに実現していくかを問う、現代的な課題であるといえる。例えば建築において、レジリエンスを地震災害時の建物の機能維持・回復性能を測る指標として捉えるなら、ロバストネス（頑健性）やリダンダンシー（冗長性）、リソースフルネス（豊富な利用資源）、ラピディティ（即時対応力）などが深く関連してくるであろう。

また、2020年はじめより世界中で大流行した新型コロナウイルス感染症は、地球上の至るところで都市経済活動を停止に追い込み、私たちの社会生活にも甚大な影響を及ぼすこととなった。人が集まり暮らすことによって成り立つ都市と社会、そして経済活動において、私たちは働き方やコミュニケーションのあり方をはじめとして、様々な生活様式の変化を強いられるようになっていく。新しい生活様式「ニューノーマル」は、今後の都市や建築のあり方にも変化を及ぼしていくことになるであろう。

幾重にも重なり合うリスクや危機と向き合いながら、持続可能な社会を実現していくために求められる新時代のレジリエント建築・都市の提案を期待したい。

応募要領

①課題 新時代のレジリエント建築・都市

②応募資格 本会個人会員（準会員を含む）、または会員のみで構成するグループとする。なお、同一の個人または代表名で複数の応募をすることはできない。

※未入会者、2021年度会費未納者ならびにその該当者が含まれるグループの応募は受け付けない。応募時までに入会および完納すること。

③募集内容

- (1) 災害に対するBCPの観点から建物の機能維持・回復（レジリエンス）性能の向上に対する創造的な建築の提案。
- (2) 災害には地震・台風、豪雨による水害・土砂災害などの自然災害のほか、停電やテロ、新型コロナウイルス感染症の流行なども含む。また、災害時や災害後だけではなく、未然に災害を防ぐような提案も可とする。
- (3) 提案は建築とその周辺の都市空間を含んだ提案も可とする。また構造・環境設備・情報など多様な分野からの提案を求める。
- (4) 建物の規模、施設の配置や構成は提案者の想定による。新築の提案、既存の建物の改修いずれの想定も可とする。

④審査員（敬称略、五十音順）

委員長 牧 紀男（京都大学／レジリエント建築タスクフォース主査）
委員 朝川 剛（東京電機大学）
梶橋 修（神戸大学）

⑤提出物 下記3点を提出すること（使用する言語は、日本語または英語とする）。

(1) 応募申込書：以下の内容をA4判1枚に明記すること（書式は自由）。

- ①提案名（提案内容を的確に表す簡潔なタイトル）
- ②代表者の氏名（ふりがな）・会員番号・所属
- ③共同制作者全員の氏名（ふりがな）・会員番号・所属
- ④上記中の事務連絡担当者の氏名（ふりがな）・会員番号・所属・連絡先住所・電話番号・E-mailアドレス

(2) 建物等の計画案：以下の内容をA1判1枚に収める。用紙は縦使いとし、パネル化しないこと。

- ①提案名（提案内容を的確に表す簡潔なタイトル）
- ②計画の意図と概要（想定する災害、レジリエントな建築・都市空間の定義、想定する災害時の機能維持と被害の状況およびその後の回復の程度と時間等）
- ③建物の設計（設計思想、設計概念、検討結果、図面など）

※注意：提出図面には、氏名・所属など応募者が特定できる情報を記載しないこと。

(3) 上記(1)応募申込書、(2)建物等の計画案のPDFファイルを取めたCD-RまたはDVD-R

⑥提出期限 2021年5月24日（月）17時必着

※応募受付は5月6日から開始

⑦審査会 審査は二段階で行う。

- (1) 一次審査会（非公開）2021年6月中旬予定
入選作品候補を選定する。
- (2) 二次審査会 建築会館ホールまたはオンライン候補者による10分程度のプレゼンテーションを実施し、その後各賞ならびに佳作を決定する。

⑧表彰

最優秀賞——1点：賞状および副賞50万円
優秀賞——3点以内：賞状および副賞10万円
佳作——若干：賞状および副賞5万円
ただし、審査結果において該当作品なしとする場合がある。

⑨審査結果の公表等

(1) 入選作品は2021年9月の日本建築学会大会（東海）で表彰し、展示する予定である。

※新型コロナウイルス感染症の今後の状況をみながら検討する。

(2) 入選作品は、審査経過・講評とともに『建築雑誌』および本会Webサイトに掲載する。

⑩その他

- (1) 応募図面および関係書類は返却しない。
- (2) 応募作品の著作権・特許権は応募者に帰属するが、『建築雑誌』・本会Webサイトへの掲載や日本建築学会編の出版物に用いる場合は、無償でその使用を認めることとする。
- (3) 課題に関する質問は受け付けない。

【提出先】

（社）日本建築学会事務局「技術部門設計競技」係
〒108-8414 東京都港区芝5-26-20
TEL. 03-3456-2057（担当：伏見）